

# まちの宝は ゆたかな自然と そこに住む人々

## 原発ゼロはわたしの原点 川澄敬子

2011年の東日本大震災とそれに続く福島第一原発の事故は  
わたしの生き方を大きく変えました。

事故直後のニュースや映像に息をのみ、言葉を失いました。  
被災され避難してふるさとに帰れない人々、子どもたちの健康被害への不安、  
広範囲に広がった農畜産物や水産物の放射能汚染などを知るなかで  
子どもたちの未来を守るために、すべての原発を廃炉にすべきだ、  
原発ゼロの社会を作りたいという思いを強くしました。

運転開始40年の老朽化した東海第2原発の再稼働をストップさせようと始まった  
日本原電前金曜行動に参加するようになりました。  
茨城町は、東海第2原発から30キロ圏内にあります。  
運動の中で、同じ志を持つ多くの人たちとつながることができ  
声を上げることのたいせつさを学びました。

町議選への立候補をすすめられたとき、町民のくらしと安全を守りたい、  
子どもの未来とふるさとを守りたいと立候補を決意しました。  
その思いは、今も変わりません。

これまでの活動を支え、ともに行動し、願いを寄せてくださった皆さんと  
力あわせ、これからも町をよりよくしていきたいと思ひます。

日本共産党



茨城町議会議員 日本共産党

# 川澄敬子

かわすみ けいこ

●1953年（昭和28年）茨城町生まれ●県立水戸第二高校、茨城大学教育学部卒●学童保育指導員として勤務●退職して自宅で塾を開きながら、父母を介護●茨城中央農民組合事務局、農民運動茨城連合会執行委員など●2015年町議選で初当選、現在1期目●趣味は読書●家族は夫と娘●茨城町小幡在住



# 4年間で実現できたこと

12月中開始

## 1. ついにデマンド型乗合タクシー運行



日本共産党がずっと要望し続けてきたデマンドタクシーが12月中に運行開始。地域の路線バスがどんどん廃止され「もうやるしかない」と町も決断。まさに「継続は力なり」です。高齢者にやさしく使いやすいものにするために、意見を聞いてよりよく改善していきます。ぜひご利用ください。

## 2. 子ども医療費補助を高校卒業まで拡大

「子育てや教育のことを毎回、議会で取り上げてくれるのは川澄さんだけ」という言葉に励まされます。しっかり勉強して、力をいれていきたい。不登校、発達障がい、虐待、子育て支援センター、学童保育、支援員処遇、給食、通学路、スクールバス、就学援助などの課題に取り組んでいます。

## 3. 議会も町長も原発再稼働反対を表明

原発の危険性を繰り返し訴え続け、議会も町長も「町民を福島のような目にあわせるわけにはいかない」という考えで一致しています。国にも企業にも「ダメなものはダメ」とブレずに言えるのは日本共産党の強みであり、原発ゼロを願う町民世論の力です。

# 川澄敬子



平和憲法を守ります

「なんでも反対」。時にはそう言われてしまう日本共産党ですが、いいものはしっかり進め、まちがっていることは正し、よりよくしていくのが政党の仕事です。

日本共産党は反対する場合には、どんな問題でも「対案」を示します。消費税についても、負担能力に応じた税制で財源を確保する別の手段を提案しています。

党をつくって97年。「反戦平和」と「国民主権」をつらぬき、どんな権力にも付度(そんたく)しません。政策や願いを一致点に、立場の違いをこえて協力・共闘を広げます。安倍政権にかわる新しい連合政権をめざす—それが、日本共産党です。

## 日本共産党

しあわせをともにうみだす

## これから実現したいこと

### 1. スクールバスの無料化と運行改善



統廃合で学校が遠くなり、歩いて通えない子どもが大勢います。そうした子どもたちは毎日バス通学していますが、運行時間やバス停位置など改善が必要です。なにより、月3,000円のバス代は大きな負担です。近隣自治体のようにスクールバスの無料化をめざして、粘り強く取り組みます。

### 2. 国保税、介護保険料、水道代の軽減

消費税は社会保障のためと言いながら、国保や介護の負担は増えるばかりです。年金から天引きされ、手元に残る年金がますます減っています。負担を軽減するために、税金や予算の使い方をただしていきます。あわせて、水道料金の引き下げを町に提案し、実現をめざします。

### 3. 災害に備えた避難体制・被災者支援の拡充

あいつぐ自然災害に備え、町民に情報をどう伝えるか、体の不自由な方や子どもたちをどのように避難させるか。避難所の改善も含めて体制を見直します。被災農家や家屋を再建するための支援制度があまりにも不十分です。国や県に補償の大幅な拡充を求めます。

